

■さようなら原発・核燃「3.11」弘前集会■



<記念講演>

被ばく牛と浪江町に生きる

～原発事故から8年目を迎える「希望の牧場」～

講師 吉沢正巳 (希望の牧場・ふくしま代表)

(講師紹介) 1954年生まれ。東京農業大学農学部畜産学科卒。卒業後、浪江町で牧場を経営。2011年、福島第一原発事故を目の当たりにし、自身の生き方に苦悩しながらも、政府からの牛殺処分指示に抗い、牛を飼育し続ける。2012年、非営利一般社団法人「希望の牧場・ふくしま」設立。現在も300頭を超える被ばく牛とその子孫の飼育を続けている。

2011年3月11日の福島第一原発事故から8年目を迎えようとしています。今、福島はどうなっているのでしょうか。他方、全国の原発では再稼働の動きが進んでいます。県内の核燃料サイクル施設や大間原発も建設が進められています。こうした状況の中で、今年の「3.11」弘前集会では、吉沢正巳さん(希望の牧場・ふくしま代表)をお迎えし、福島原発事故後の私たちの生き方を問い直してみたいと思います。

日時 2018年 3月 3日(土) 13時半～16時半(予定)

会場 弘前市総合学習センター 多目的ホール
(弘前市末広 4-10-1/TEL 0172-26-4800)

参加費 無 料

主催 核燃・だまつちゃおられん津軽の会

お問い合わせ 核燃・だまつちゃおられん津軽の会事務局
(宮永崇史 TEL 0172-39-3551/E-mail: takaf@hirosaki-u.ac.jp)